けいちゃん はんちゃん なぁちゃんの

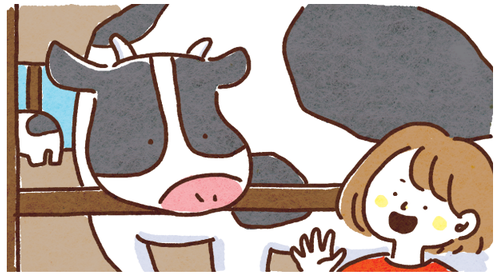
ふるさとめぐり

木津川市編

けいはんな学研都市の８市町をめぐり、魅力的なふるさと納税返礼品を紹介するよ！

クローバー牧場

戦後、初代の経営者が『食の大切さ』を身に沁みて体験したことから始めたという、クローバー牧場。木々や自然に囲まれたこの牧場では、とても濃厚で甘く、牛乳が苦手な人でも飲めちゃうぐらい美味しいミルクが搾られているよ。「家族のように大切に牛たちを育て、日々向き合っています。おいしい牛乳のために、牛にストレスがかからないよう健康管理を徹底することを心がけています」と、現在牧場を経営されている松本さんが教えてくださったよ。



ストレスや体調の変化によって牛乳の味も変わってしまうので、体調の変化を見極めてエサの配合や牧草の多さを変えているんだそう。「エサだけでなく飲み水にもこだわっています。地下からくんだ井戸水が牛の前を川のように流れていて、きれいで美味しいお水が飲めるようになっているんですよ」とのこと。そうして搾乳された牛乳は低温殺菌され、空気にふれずにボトルに詰めて出荷されるよ。本来の甘さが感じられる濃厚な味わいの牛乳、みんなもぜひ味わってみてね！



ふるさと納税すると

返礼品には、クローバー牧場で生産された『くろーばーみるく』や『くろーばーよーぐると』のセットがある。毎月２回届けられる定期便コースも！

オススメの返礼品いろいろ

木津高校の紅茶ギフトセット
（京都府立木津高等学校）



宇治茶の産地で農業を学ぶ高校生が、実習で心をこめて作ったお茶のギフトセット。オリジナルブレンド３種類の詰め合わせ。

ことことビール12本セット
（ことことビール）



酒蔵の経験と技術を盛り込み、それぞれのビールの特徴を最大限に生かした、ことことビールを代表するオリジナルクラフトビールセット。

ねぎに恋するコロッケ・メンチボール
（秋田農園）



ねぎ農家が企画・立案をした、ねぎ好きのための贅沢セット。ねぎの旨味と栄養がたっぷりの『コロッケ』と『メンチボール』が両方楽しめる。

小嶋織物

「木津川市って実は織物襖紙・織物壁紙の産地なんです。明治から大正にかけて生産が始まった襖地・蚊帳、そして明治中期頃から奈良で作られていたふすま紙の技術が今も受け継がれています」と教えてくださったのは小嶋織物株式会社の取締役・小嶋恵理香さん。JR上狛駅すぐそばの工場では、いくつもの工程を経て織物壁紙が製造されていたよ。たくさんの機械を通って織物がみるみるうちにできあがっていく様子は圧巻！ でも特に印象的だったのは、織り上がった生地の一本一本を職人さんが手作業で微調整しているところ。こうした人の手による技術で、上質な壁紙は作られているんだね。紙でできた糸や天然の素材を使ったデザインが特徴で、ホテルや高級ブランドの店舗で使う壁紙を特注されることも多いんだとか。「わたしたちの布と紙を貼り合わせる技術を使うと、色んな地域・産地の織物も壁紙に仕上げることができます。この技術で、世界の織物産業を盛り上げていけるのではと考えています！」と小嶋さん。現在、製造された壁紙の半分は海外へ輸出されているんだって。大きな可能性を秘めたものづくりの技術が木津川市から世界へ広がっていくなんて、なんだかぼくも嬉しいな！





ふるさと納税すると

返礼品は小嶋織物が手がけた『壁紙』や『ふすま紙』のほかに、消臭抗菌効果のある『柿渋ふきん』、麻を使った軽くてしなやかな質感の『トートバッグ』なども用意されているよ。

INFORMATION

恭仁宮跡が特別史跡に昇格！

今から約1,300年前に、聖武天皇は平城京から現在の木津川市域の恭仁京へと都を移し、恭仁京の中枢部である恭仁宮が加茂町の瓶原におかれました。

首都であったのはわずか3年余りですが、現在の教科書にも載っている「国分寺建立の詔」や「墾田永年私財法」が定められるなど、歴史上の重要な舞台となりました。



令和8年2月には史跡恭仁宮跡(山城国分寺跡)が「遺跡の国宝」ともいうべき特別史跡に指定されました。京都府内での特別史跡の指定は、昭和31年の鹿苑寺（金閣寺）庭園の指定以来で、約70年ぶりの4件目の指定となります。

ふるさと納税のお申し込みはこちらをご覧ください。



イラスト・記事制作
おおえ さき

イラストレーター、マンガ家、ラジオDJ。京都市出身。
著書『ショート・ショート・キョート』発売中。
FMKYOTO『FLOWER HUMMING』
毎週日曜20時からOA中。
SNSにて作品更新中！ X / Instagram @ohyeah_saki